

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	電子工学特別講義		
英文授業科目名	Special Topics in Electronic Engineering		
開講年度	2006年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-電子工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	電子工学専攻		
担当教官名	野崎 眞次		
居室	西3-506		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nozaki@ee.uec.ac.jp	<a href="http://wbl.ice.uec.ac.jp/electronics">http://wbl.ice.uec.ac.jp/electronics</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
本講義は、電子システム、電子情報工学、光エレクトロニクス、マイクロエレクトロニクス分野の各分野で活躍されている特別講師により行われる。講義は、4回で、水曜日の午後、3限から5限目に行われる。各講師による講義日、題名等は授業内容を参照のこと。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
電子工学一般

<b>【教科書等】</b>
なし

【授業内容とその進め方】

第1回目：10月11日（水）13:00～17:45

特別講師：川邊 武俊 教授（所属：九州大学大学院システム情報科学研究所）

e-mail: kawabe@ees.kyushu-u.ac.jp

講義題名：自動車の安全・安心と制御技術（電子システム分野）

第2回目：11月1日（水）13:00～17:45

特別講師：青木 太郎 氏（所属：海洋研究開発機構海洋工学センター）

e-mail: aokit@jamstec.go.jp

講義題名：深海探査機について（副題；有人潜水船「しんかい16500」、深海巡航探査機「うらしま」等について）（電子情報工学分野）

第3回目：11月22日（水）13:00～17:45

特別講師：河野 克典 氏（所属：富士ゼロックス株式会社先端技術研究所）

e-mail: Katsunori.Kawano@fujixerox.co.jp

講義題名：有機フォトンクス（有機材料を用いた光エレクトロニクスに関する基礎と応用）（光エレクトロニクス分野）

第4回：12月6日（水）3-5時限

講師：藤巻 朗 教授（名古屋大学大学院工学研究科量子工学専攻）

e-mail: fujimaki@nuee.nagoya-u.ac.jp

講義題名：実用化へ近づく単一磁束量子テラヘルツエレクトロニクス（マイクロエレクトロニクス分野）

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

本講義の成績は、各講師による評価を総合して決定される。

第1回

評価方法：講義の際に出題する課題に対するレポートの解答内容を評価する。

評価基準：講義内容の理解度，論旨の明確さ，独自性を主たる評価基準とする。

第2回

評価方法：試験（30分程度）

評価基準：講義内容の理解度。

第3回

評価方法：講義の際に出題する課題に対するレポートの解答内容を評価する。

評価基準：講義内容を正しく理解したか、講義を聞いて自ら考えた事柄が適切に表現されているかどうかを主たる評価基準とする。

第4回

評価方法：講義で示す課題に対するレポートの解答内容を総合的に評価する。

評価基準：講義内容の理解度をレポートの内容で判断する。また、レポート課題には自らの考えを問う設問を用意しており、そこで自らの考えを正しく表現できているかどうかも評価基準とする。

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

### 【オフィスアワー：授業相談】

直接各特別講師の先生方へ連絡してください。e-mailアドレスは、授業内容にあります。

### 【学生へのメッセージ】

#### 第1回

本講義を契機に、社会と技術のありかたについて考えていただければ幸いである。

#### 第2回

資源のない日本が、今後も豊かな社会を維持していくには、世界最高レベルの技術、産業を創造していかなければならない。心豊かな人生を送るためにも、是非、物作りの楽しさを知って欲しい。

#### 第3回

講義の後半では、現在開発中の次世代大容量光ディスク『ホログラフィックストレージ』についてもご紹介します。

#### 第4回

現在の最先端の超伝導技術を紹介します。ビデオやホットなトピックスも含めるつもりですので、是非受講してください。

### 【その他】

本講義は、国立工科大12大学大学院単互換講義として他大学へネット配信される。